

新医学系指针对应「情報公開文書」改訂フォーム

回復期リハビリテーション病棟における小脳に病巣を有する脳卒中患者の機能回復過程に関する研究

1. 研究の対象

本学付属病院3A病棟にリハビリを目的として入院している、もしくは過去に入院していた初発の小脳に病巣を有する脳卒中患者のなかで、頭部CTもしくはMRI検査をすでに行った方、または今後予定されている方。性別は問わない。

2. 研究目的・方法

小脳に病巣を有する脳卒中後に多様な運動障害、認知・情動障害が生じるとする報告が多くなされている。しかしながら、回復期リハビリテーション病棟に入院する小脳に病巣を有する脳卒中患者の症状がどのような経過を経るか、また、その症状が日常生活活動や日常生活関連活動、転帰にどのような影響を及ぼすかについては不明な点が多い。本研究の目的は回復期リハビリテーション病棟へ入院する小脳に病巣を有する脳卒中患者において見られる症状の経過、症状の日常生活活動・日常生活関連活動、転帰に及ぼす影響について調べ、小脳に病巣を有する脳卒中例のリハビリテーションの一助とすることである。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：神経心理学的検査、運動機能検査、ADL 検査、MRI 画像、CT 画像等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

茨城県稲敷郡阿見町阿見 4733 茨城県立医療大学付属病院リハビリテーション部 理学療法科

TEL：029-888-9216（PT 科直通）

E-mail：wakatabim@ami.ipu.ac.jp

研究責任者：理学療法士 若旅 正弘

-----以上